

第55回関東ろう者体育大会 in 山梨

2026年6月26日(金)～28日(日)

案内書

【開催要項・各競技実施要項】

第79回野 球 競技	第45回ボウリング 競技
第58回卓 球 競技	第44回ゲートボール 競技
第55回バレーボール 競技	第37回ソフトボール 競技
第47回サ ッ カー 競技	第33回バドミントン 競技
第46回テ ニ ス 競技	第12回フットサル 競技

■監督・主将会議・組み合わせ抽選会

日程 2026年5月24日(日)

時間 午後2時から午後4時まで(受付午後1時30分から)

会場 山梨県立図書館

■開会式・引継ぎ式

日程 2026年6月26日(金)

時間 午後3時から午後4時まで

会場 山梨県立図書館

主催 関東ろう連盟

主管 一般社団法人山梨県聴覚障害者協会

第 55 回関東ろう者体育大会

【目次】

開催要項	P 2
登録料規約	P 8
競技別実施要項	
①野球競技	P 10
②卓球競技	P 14
③バレーボール競技	P 17
④サッカー競技	P 19
⑤テニス競技	P 24
⑥ボウリング競技	P 26
⑦ゲートボール競技	P 29
⑧ソフトボール競技	P 31
⑨バドミントン競技実施要項	P 35
⑩フットサル競技実施要項	P 38
各種届書式書式一覧表	P 41
様式 1 委任状	P 42
様式 2 選手参加証明書	P 43
様式 3 ダブルス組合せ同意書	P 44
様式 4 緊急登録選手変更届	P 45
様式 5 メンバー及び投球順変更届	P 46
様式 6 棄権届	P 47
関東ろう者体育大会参加に関する誓約事項	P 48
関東ろう者体育大会 in 山梨 会場案内	P 49

第55回関東ろう者体育大会開催要項

1. 目的

関東のろう者が参加するスポーツの振興と競技スポーツの技術向上を図り、また、競技を通じてろう者の健康と体位向上を図ることを目的として開催する。

2. 大会及び競技名

第55回関東ろう者体育大会

- | | |
|----------------|---------------|
| ① 第79回野球競技 | ⑥第45回ボウリング競技 |
| ② 第58回卓球競技 | ⑦第44回ゲートボール競技 |
| ③ 第55回バレーボール競技 | ⑧第37回ソフトボール競技 |
| ④ 第47回サッカー競技 | ⑨第33回バドミントン競技 |
| ⑤ 第46回テニス競技 | ⑩第12回フットサル競技 |

3. 開催日程：2026年6月26日(金)～6月28日(日)

4. 開催地：山梨県甲府市、韮崎市 南アルプス市 北杜市 甲斐市

5. 主催：関東ろう連盟

6. 主管：一般社団法人 山梨県聴覚障害者協会

7. 競技主管(予定)

山梨県野球連盟 (一社)山梨県卓球協会 (一社)山梨県バレーボール協会
(一社)山梨県サッカー協会 山梨県テニス協会 山梨県ボウリング連盟
山梨県ゲートボール協会 山梨県ソフトボール協会 山梨県バドミントン協会

8. 後援(予定)

山梨県 甲府市 韮崎市 南アルプス市 北杜市 甲斐市 山梨県議会 山梨県教育委員会
公益財団法人山梨県スポーツ協会 社会福祉法人山梨県社会福祉協議会 社会福祉法人山梨県障害者福祉協会 山梨県障害者スポーツ協会 NHK 甲府放送局 山梨日日新聞社・山梨放送 テレビ山梨

9. 協力(予定)

山梨県手話通訳問題研究会 山梨県手話通訳士会 山梨県手話サークル

10. 協賛(予定)

ナガセケンコー会社 株式会社モルテン

11. 参加人数(予定)

役員400名(審判・要員含む) 選手600名 応援200名

12. 日程及び会場

月 日	時 間	内 容	会 場
5月24日 (日)	10:00～ 12:00	関東ろう連盟体育部委員会	山梨県立図書館
	13:00～ 14:00	競技別担当者打合せ	
	14:00～ 16:00	監督・主将会議 組合せ抽選会	
6月26日 (金)	10:00～ 12:00	関東ろう者体育部委員会	山梨県立図書館
	13:00～ 14:00	関東ろう連盟体育部・競技委員会	
	14:00～ 15:00	打合せと実行委員	
	15:00～ 16:00	開会式、引き継ぎ式	
6月27日 (土)	9:00～ 17:00	第79回野球競技	甲府市 緑ヶ丘スポーツ公園ふじでん球場 甲府市 県立飯田野球場
		第58回卓球競技	甲府市 小瀬スポーツ公園体育館
		第55回バレーボール競技	甲府市 小瀬スポーツ公園武道館
		第47回サッカー競技	韮崎市 韮崎中央公園陸上競技場
		第46回テニス競技	甲府市 小瀬スポーツ公園テニスコート
		第45回ボウリング競技	甲斐市 ダイトースターレーン
		第44回ゲートボール競技	南アルプス市 すぱーく白根
		第37回ソフトボール競技	甲斐市 釜無川スポーツ公園グラウンド
		第33回バドミントン競技	韮崎市 東京エレクトロン韮崎アリーナ
		第12回フットサル競技	北杜市 白州体育館
6月28日 (日)	9:00～ 17:00	第79回野球競技	甲府市 緑ヶ丘スポーツ公園ふじでん球場
		第58回卓球競技	甲府市 小瀬スポーツ公園体育館
		第47回サッカー競技	韮崎市 韮崎中央公園陸上競技場
		第46回テニス競技	甲府市 小瀬スポーツ公園テニスコート
		第45回ボウリング競技	甲斐市 ダイトースターレーン
		第37回ソフトボール競技	甲斐市 釜無川スポーツ公園グラウンド
		第33回バドミントン競技	韮崎市 東京エレクトロン韮崎アリーナ
		第12回フットサル競技	北杜市 白州体育館

13. 参加資格

- ① 関東ろう連盟に加盟している各都県団体に入会した正会員であり、正会員は自ら居住する各都県団体に入会した者でもあること。
- ② 高等学校及びろう学校高等部本科在学中の生徒は可。但し、大学生及び専攻科生・専門学校の学生にも関東ろう連盟体育部に登録した者であること。
- ③ 聞こえる人は、監督・コーチ・トレーナーとして参加できる。

14. 競技方法

各競技実施要項による。

15. 大会参加料

- (1) 選手の参加は、個人参加料を納めなければならない。
- (2) 卓球・テニス・バドミントン競技でダブルス戦のみ、又は混合ダブルス戦出場のみの場合でも個人参加料は納めなければならない。
- (3) 選手以外の者（監督・コーチ・マネージャ・スコアラー等競技にかかる者）は選手と同額納入するものとする。
- (4) 役員は、関東ろう連盟体育部委員会役員（各体育部長・各競技委員）とし、個人参加料を納めなければならない。
- (5) 一旦納入した参加料は、大会参加申込締切日後、理由の如何にかかわらず返金しないものとする。

【個人参加料】

競 技 名	単 位	個人参加料
野球・卓球・バレーボール・サッカー ゲートボール・バドミントン（シングルス） ソフトボール・フットサル	1人	3,000円
テニス	1人	4,000円
ボウリング	1人	6,000円

【ダブルス】

競 技 名	単 位	個人参加料
卓 球・テニス	ダブルス1組 (1人あたり)	3,000円 (1,500円)
バドミントン	ダブルス1組 (1人あたり)	4,000円 (2,000円)

【混合ダブルス】

競 技 名	単 位	個人参加料
バドミントン	混合ダブルス1組 (1人あたり)	4,000円 (2,000円)

【団体参加料】

競 技 名	単 位	参加料
野 球	1チーム	10,000円
卓 球・バレーボール・サッカー・ソフトボール・フットサル	1チーム	7,000円
ゲートボール	1チーム	5,000円
ボウリング(男子)	1チーム	17,000円
ボウリング(女子)	1チーム	9,000円

【選手以外者の者】

健聴者・ろう者 (コーチ、マネージャー、スコアラー)	1人	3,000円
-------------------------------	----	--------

【役 員】

関東ろう連盟体育部・競技委員	1人	3,000円
----------------	----	--------

16. 登録料

関東連盟体育部委員会規約第6条に基づき、登録規定を定める。

登録料(委員・競技委員、監督、コーチ、マネージャー、スコアラー、選手)	1人	2,000円
-------------------------------------	----	--------

17. 表 彰 「各競技実施要項」による。**18. 監督・主将会議(組み合せ抽選会)**

日時 2026年5月24日(日)

場所 山梨県立図書館

19. 申込締切日

2026年5月2日(土)厳守

万が一遅れる場合は、恐れ入りますがご一報いただけますと幸いです。

20. 大会実行委員会・送付先

〒400-0051

山梨県甲府市大里町 4225-1 コアタウン 6号

一般社団法人山梨県聴覚障害者協会事務所 気付

第55回関東ろう者体育大会実行委員会事務局 宛

FAX : 055-269-6695

e-mail : yrk33@dream.ocn.ne.jp

21. 参加費の振込先

【金融機関】：山梨中央銀行 後屋支店

【口座番号】：普通 4083842

【口座名義人】：第55回関東ろう者体育大会実行委員会

【口座フリカナ】：ダイゴジュウヨンカイカントウロウシャタイイクタイカイジッコウインカイ

22. 登録料の振込先

【金融機関】：ゆうちょ銀行

【記号番号】：10500-52104511

【口座名義人】：関東ろう連盟体育部委員会

※ゆうちょ銀行以外の金融機関からの振込先

【金融機関】：ゆうちょ銀行

【店名】：0五八（読みゼロゴハチ）

【店番】：058

【預金種目】：普通貯金

【口座番号】：5210451

【口座名義人】：関東ろう連盟体育部委員会

23. その他

- (1) 参加選手及び役員は、健康保険証または国民健康保険証、身体障害者手帳及び障害者医療受給証を必ず持参すること。
- (2) この要項に定めない事項については、関東ろう連盟理事会を通じて体育部委員会において決定する。
- (3) 関東ろう者体育大会参加に関する誓約事項に同意する申込書を提出しなければならない。

24. 大会実行委員会ホームページ

<https://www.2020yrk333.com/> 大会案内書、競技速報などお知らせします。

＜ 参 与 ＞ ダブルス種目のある競技の参加料早見表

〔説 明〕

(1) 第1希望種目はシングルスやダブルスに関わらず個人参加料とする。

個人参加料は、卓球3,000円、テニス4,000円、バドミントン3,000円です。

(2) 各競技で希望種目数により、下記通りの組合せ、一人あたりの参加料を算出する。

1. 卓球競技

〔参加条件〕

①団体戦出場選手はシングルス戦に参加できる。

②団体戦出場選手も個人参加料を納める。

③シングルス戦は、全選手が出場できる。

希望種目数		シングルス	男子・女子ダブルス	参加料金/1人
1種目希望	A選手	3,000円		3,000円
	B選手		3,000円	3,000円
2種目希望	A選手	3,000円	1,500円	4,500円

2. テニス競技

〔参加条件〕① 第1日目シングルス、第2日目ダブルスを行います。

希望種目数		シングルス	男子・女子ダブルス	参加料金/1人
1種目希望	A選手	4,000円		4,000円
	B選手		4,000円	4,000円
2種目希望	A選手	4,000円	1,500円	5,500円

3. バドミントン競技

〔参加条件〕

希望種目数		シングルス	男女ダブルス	混合ダブルス	参加料金/1人
1種目希望	A選手	3,000円			3,000円
	B選手		3,000円		3,000円
2種目希望	A選手	3,000円	2,000円		5,000円
	B選手		3,000円	2,000円	5,000円
3種目希望	A選手	3,000円	2,000円	2,000円	7,000円

関東ろう連盟体育部委員会

登録料規約

(目的)

第1条 この規約は、関東ろう者体育大会、全国ろうあ者体育大会に参加する者から徴収する登録を定める。

(登録料の対象)

第2条 登録料の対象は次の通りとする。

1. 関東ろう者体育大会に出場する選手
2. 上記体育大会出場する監督・コーチ・トレーナー・マネージャー等
3. 体育部委員会役員
4. ろう学校等の特別支援学校高等学校、専門学校、大学に在籍するろう者、難聴者の出場選手
5. 関東ろう者体育大会の競技に関わらず、全国ろうあ者大会に出場する関東ろう連盟加盟団体の選手等
6. 前号の体育大会に出場する監督・コーチ・トレーナー・マネージャー等

(登録料)

第3条 登録料は年度単位とし、年度内に開催する関東ろう者体育大会出場申込みの時に納入する。
2、登録料は一律2000円とする。

(登録料の免除)

第4条 夏季大会に出場した者が、冬季大会に出場するときは登録料を免除する。

(登録料の用途)

第5条 登録料の用途は、次の通りとする。

夏季・冬季大会運営等の補助金

1. 選手・役員・コーチ等に関する表彰の運営費
2. 体育委員会に関する旅費等
3. スポーツ基金へ補助
4. その他、体育部委員会が必要と認める費用

(管理)

第6条 登録料の管理は体育部委員会が担当し、年度毎に収支報告を行うものとする。

(登録料の扱い)

第7条 一旦納入した登録料は、大会参加申込み後、理由の如何に関わらず、返金はしないものとする。

(規約の改定)

第8条 登録料規約の改定は、関東ろう連盟理事会の承認を得るとともに、代議員会において過

半数の議決を得なければならない。

2、関東ろう連盟評議員会においても過半数の承認を得なければならない。

(附 則)

この規約は、2021（令和3）年11月14日体育部臨時代議員会において議決を得て、2022（令和4）年4月24日関東ろう連盟評議員会において承認を得た。よって、2009（平成21）年4月26日施行の「登録規程」は廃止する。

野球競技実施要項

1. 競技種目

軟式野球競技とする。

2. 競技規則

2026年度公認野球競技規則を適用する。

3. 出場資格

関東ろう連盟体育部に登録した者により1都7県単位に編成したチームとする。

茨城1、群馬県1、埼玉県2、千葉県1、東京都2、神奈川県1、栃木県1、山梨県1、筑波技術大学（茨城）

（全国大会開催・地元開催チームは1チームを加えて参加することができる。ただし、県単位は開催地を含め最大2チーム以下とする。）

12チーム以内になるものとする。

[※優勝・準優勝チームが全国大会に出場する。繰り上げ出場の場合、順次に繰り上げ、最大4位までとする。]

4. チームの編成

① 1チームの編成は、監督・コーチを含む選手20名とする。なお、マネージャー・スコアラー等は若干名とする。但し、マネージャー・スコアラーの帽子を着用する（選手同様とする）

② コーチまたはマネージャー、スコアラーが選手として出場することはできるが、選手のみ出場する場合は、20名の範囲で登録しなければならない。

③ 監督の背番号は30番、主将の背番号は10番とする。

④ 特別理由（突発性事故、病気等）がある場合に限り、選手の変更及び背番号の変更は今大会の競技実施要項の規定（所定の用紙に理由を明記して監督・主将会議の期日までに提出する）に従って認められる。但し、追加の申し込みは、一切認められない。

⑤ 県単位にチームを編成できない場合（8人以下の場合）は、他県のチーム（関東地区）に加入することができる。

※(1) 申込み締め切り後の登録・変更については認められない。

(2) 全国大会出場に補強選手4名まで参加できる。

5. 試合方法

① 全試合トーナメント方式による。

② 全試合7回戦とする。

③ 得点差によるコールドゲームを採用する。

④ 得点差によるコールドゲームは5回以降7点差生じた場合とする。

⑤ 得点差によるコールドゲームは3回以降15点差生じた場合とする。

⑥ 7回を終わって同点は、次項の特別ルール（決勝戦も同様）による延長戦を実施する。

- ⑦ 指名打者制度（DH）を使用することを認める。
自チームがDHを使用し、相手チームがDHをしなくても試合はできる。
西暦の末尾が偶数年はDH制を認め、奇数年はDH制を使用しない。
- ⑧ [特別ルール]
継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者とし、2塁・3塁走者は、順次前の打者（投手を含む）として、1死満塁の状況に1イニング行ない得点の多いチームを勝者とする。
- ⑨ 勝負が決しない場合は、特別ルールによる特別延長戦を実施する。
継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者とし、2塁・3塁走者は、順次前の打者（投手を含む）として、1死満塁の状況に1イニング行ない得点の多いチームを勝者とする。
（この場合原則として勝負が決するまで特別延長戦を繰り返すものとする。）
- ⑩ 決勝場合は、下記事項にて実施する。
 - (1) 得点差及び時間制限によるコールドゲームを採用しない。
 - (2) 7回戦とし、7回を終わっても同点の場合は、9回まで延長戦を行う。
 - (3) 延長戦でも勝負が決しない場合は、特別ルールによる特別延長戦を実施する。
（この場合、原則として勝負が決するまで特別延長戦を繰り返すものとする。）
- ⑪ 競技会において、雨天等事情により大会日程等を縮小する必要がある場合は、大会役員・審判団・当該チーム監督等の協議により運営実施する。
- ⑫ 大会使用球は、(公益財団)全日本軟式野球連盟公認Mボールとし、ボールのメーカーについては、ナガセケンコウボールM号とする。

6. 用具等

- ① ユニフォーム＝袖に必ず都県名を縫いつけること。
- ② 競技に使用する用具については、(公益財団)全日本軟式野球連盟競技規則に定められたものとする。なお、打者および走者は、ヘルメットを着用しなければならない。また、守備中の捕手は、プロテクター、ヘルメットおよびレガースを着用しなければならない。
- ③ 打者・走者・次打者・ベースコーチともイヤーフラップのついたヘルメットを着帽しなければならない。(ただし、ベースコーチについては、イヤーフラップの規則はしないが、耳付きを着用することが望ましい。)

7. 打順表（オーダー表）提出について

- ① 第1試合の場合は、試合開始予定時間の30分前に監督・主将が提出する。この場合、原本と照合の後、審判員立会いのもとに攻守の決定を行う。
- ② 第2試合以降は、前の試合の4回終了時に主将が提出し攻守の決定を行う。
- ③ その日の試合がWヘッダー（前の試合終了30分前で試合開始）となる場合の第2試合については、本部の指示により提出する。
- ④ 打順表の用紙（5枚複写）は、本部で配布するので、事前に受領する。
- ⑤ 打順表の選手については、読みにくい名前にはフリガナをつけること。

8. 抗議について

試合中に、抗議できる者は、監督または、主将・当該プレイヤーである。

9. 監督・主将会議

- ① 監督・主将会議において、大会の組合せ抽選会を行う。
- ② 組合せ抽選会における本抽選のくじ引き順を決定する予備抽選を引く順番は、同会場での出席受付順に行う。
- ③ 県単位に2チーム参加の場合は、決勝までそのブロックに属するチーム同士の対戦は行わない
- ④ 監督・主将会議において、監督・主将が共に欠席する場合は、事前に監督または主将が作成した委任状を提出しなければならない。

10. 表彰

- ① 表彰は、決勝戦終了後、閉会式にて行う。
- ② 優勝チームに優勝旗・優勝カップ（持ち廻り）賞状・メダルを、準優勝チームは準優勝カップ（持ち廻り）賞状・メダルを3位チームには、賞状・メダルを授与する。
- ③ 個人表彰は、最高殊勲選手賞、最優秀投手賞、首位打者賞、敢闘賞とする。首位打者賞は、ベスト4チームの全試合を選考基準対象とし、規定打席（9打席以上）を設けて最高打率によるものとする。

11. 開会式、始球式、閉会式について

開会式、閉会式は実施しないが、状況により始球式を実施する場合があるので、チームは会場本部指示に従うこと。

12. 雨天の場合の連絡等について

- ① 雨天でも試合を行う場合がある。または、午前中試合を見合わせて、午後から行うこともあるので、大会本部からの連絡に注意すること。なお、当日試合不可能な場合は、大会本部より各チームへ連絡する。
- ② 雨天や雷雨の場合、審判の判断により、試合を中断する場合がある。

13. その他

- ① 試合中ベンチに入ることのできる者は、指定された大会係員および登録された監督・選手・スコアラー・マネージャーとする。
- ② 試合開始予定時刻の30分前までに会場に到着し、会場本部席に報告すること。なお、集合時刻に遅れたチームは、原則として棄権とみなす。試合開始予定時刻より早くゲームを行える場合もあるので、十分余裕を持って行動をする。
- ③ ベンチは組み合わせ番号の若いチームを1塁側とする。
- ④ ゲーム前の公式練習（シートノック・フィールドイング）は5分間とする。但し、天気・時間の状況により中止または短縮する場合がある。ノッカーも選手と同様のユニフォームを着用のこと。
- ⑤ 雨天時により試合を中止にする場合、決勝戦は両チーム優勝とする。3位決定戦は抽選を行い3位決定する。
- ⑥ 大会の負傷・病気については、応急手当の他は、主催者側では行わない。
（選手の傷害保険は、各チームにおいて加入しておくこと。）

健康保険証、その他これに準ずるものを持参のこと。

※一般的にはJ S B Bマークが入っている金属は使ってもいい。

※木製の場合はマークが入ってなくても使用可。

附 則

1. 参加条件

- ① 住民票のある地域または本籍地のある地域の都県に野球部がある場合、どちらかに入部しなければならない。
- ② (1)該当しない場合、野球部のある他県に自由に入部できる。

2. 要項12について次の措置を行う。

パターン	1日目	2日目	備考
A	決行	雨天中止	その他(5)を適用
B	雨天中止	決行	決勝戦を除く試合を行う。 決勝に進出したチームは両方優勝とする。 なお、3位決定戦は天候により抽選で決めることもある。
C	雨天中止	雨天中止	大会終了日から3週間から1か月以内開催する。この場合は主管に関係なくグラウンド確保できたところで試合を行う。 必ず、正規のグラウンドで行う必要はない。 技術委員及び各チーム監督・主将が運営をしていく。

卓球競技実施要項

1. 競技規則

大会開催年度の日本卓球ルール及び本大会申合せ事項による。

2. 競技種目

- ① 男子・女子別の団体戦
 - ② 男子・女子別の一般シングルス戦
 - ③ 男子・女子別のミドルシニアシングルス戦
 - ④ 男子・女子別のシニアシングルス戦
 - ⑤ 男子・女子別のダブルス戦
- 計10種目とする。

3. 出場資格

- ① 団体戦については男女とも1加盟団体4チームまでとする。
- ② 男女一般シングルス及び男女ダブルスは制限なし。
(一般シングルス出場者はミドルシニア及びシニアシングルスの部への参加は不可)
- ③ ミドルシニアシングルスの部については、男女とも40歳以上希望者とする。
(但し一般シングルスの部への参加は不可)
- ④ シニアシングルスの部については、男女とも60歳以上希望者とする。
(但し一般シングルスの部への参加は不可ですが、ミドルシニアの部への参加は可能)
- ⑤ ダブルスの組み方については、基本的に同一都県内の選手同士が組むこと。しかし、余剰の選手は、他都県の者と組むことができる。その選手2人が申し合わせの上、体育部長、卓球部長、監督の承認を得ること。(承認が得られない場合は不可)
※但し条件に合わないペアは失格となりますので、注意してください。
ダブルス同意書は選手登録申請と同様、通常締め切りとする。
(締め切り後パートナー変更は認めないとする)

4. 団体戦チームの編成

男子団体：監督1名 選手3～6名を登録できる

女子団体：監督1名 選手2～4名を登録できる

*対戦チーム相手の人数に関しては監督・主将会議にて確認すること。

5. 競技方法

- ① 8種目すべて勝敗の決定は11点5ゲームマッチ(3ゲーム先取勝)とする。
敗者復活戦は行わない。(3位決定戦は行う。)
- ② タイムアウト適用については、競技主管で決定するものとする。
- ③ 試合前の練習は1分間とする。
- ④ 男子団体戦(出場選手3名による5シングルス、3点先取)

A	B	C	A	B
X	Y	Z	Y	X

⑤ 女子団体戦（出場選手2～4名による1ダブルス2シングルス、2点先取）

W	S	S
W	S	S

⑥ 試合日時

6月27日（土） 第1日目

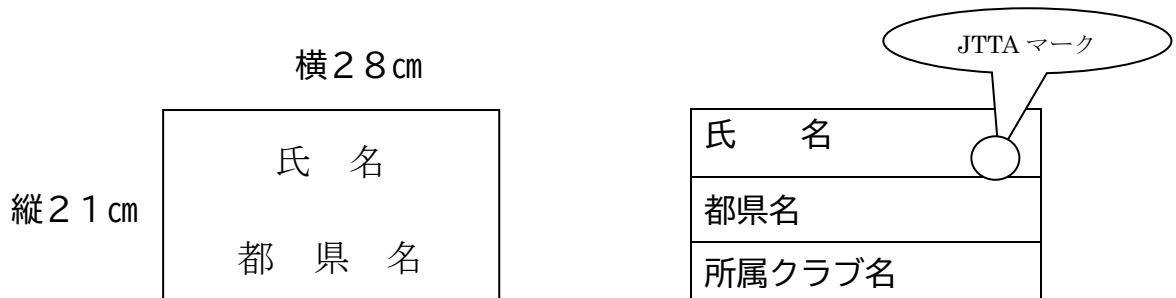
- (1) 団体戦(男子・女子)組み合わせ方法は、監督・主将会議にて決定するものとする。
 ※基本形体としてはいくつかのブロックに分けた予選リーグ戦とし、各ブロック1位もしくは、1、2位チームがトーナメント戦出場とする。但し会場や時間などの都合により参加状況によってはトーナメント戦になることもありえる。
 ※進行状況により、ダブルス戦を行う場合があります。

6月28日（日） 第2日目

- (1) ダブルス戦(男子・女子)トーナメント戦とし、決勝まで
 (2) 一般シングルス戦(男子・女子)3人制のリーグ戦後、トーナメント戦とし、決勝まで
 (3) シニアシングルス戦(男子・女子)は参加状況により、監督主将等合同会議で、競技方法を決定する。
 但し参加人数が2人以下の場合はその部を中止とし、他の部参加に変更となる。
 (4) 会場及び時間の都合、または参加チーム及び選手が多いあるいは少ない場合、試合方法を変更することがあります。

6. 競技用服装

- ① 一般、シニア競技者の半袖シャツ、ショーツ、又はスカートは、JTТАの公認マーク付きのものを使用してください。
 (但し他県と組むダブルスパアはこの限りではないとする)
- ② 半袖シャツは団体戦やダブルス戦の場合、全ての試合において、チーム又はパートナーは同一の柄の半袖シャツ着用とすること。ショーツは同色であれば、よいとする。
- ③ 団体戦の場合、試合に出ないベンチメンバーは選手と同じユニフォームは着用しなくてよい。また、ユニフォームではない半袖シャツの着用も認めるとする。
- ④ ゼッケンはJTТА公認のゼッケンか、左下図の様式の通り作成し背部に着用すること。
 (都道府県名は加盟団体名でなければならない)



(生地は白であること)

7. 使用球

ボールはJTTA公認の40ミリボールを使用する。(使用球のメーカー、色は監督主将等合同会議で決定するものとする)

8. 組み合わせ方法

- ① 団体戦の組合せは、監督・主将会議にて抽選を行う。
- ② 個人戦とダブルス戦は、実行委員会と競技委員、審判長の立ち会いのもとで代理抽選により決定する。
- ③ 監督・主将等会議において監督・主将が共に欠席したチームは原則として出場を棄権したものとみなす。代理人が出席する場合は事前に監督または主将が作成した委任状を提出しなければならない。
- ④ シードは下記の通りとする。
男女団体戦・・・参加チーム数16チーム以上の場合、前回ベスト4まで
参加チーム数15チーム以下の場合、前回1位、2位まで
男女個人戦・・・参加人数30人以下の場合、前回ベスト4まで
参加人数31人以上の場合、前回ベスト8まで
男女ダブルス・・・前回ベスト4まで(但しパートナーの変更は不可)

9. 表彰

- ① 団体戦は優勝チームに優勝カップ(持ち回り)・賞状・メダルを2位、3位チームは、賞状・メダルを授与する。
- ② シングルス戦とダブルス戦は、1位から3位までに賞状・メダルを授与する。
※注意点 関東ろう連盟体育部委員会の運営マニュアルにより、団体戦3チーム以下の場合には1位チームのみ優勝カップ(持ち回り)・賞状・メダルを授与する。
シングルス戦3人、あるいはダブルス3組以下の場合には1位のみメダル・賞状を授与する。

10. その他

- ① 選手が棄権する場合は様式・棄権届に必要事項を記入し、本部まで提出してください。
- ② 試合中のアドバイスについてはアドバイザー1名のみベンチに入れる
(アドバイザーは競技者と共にベンチに入れること)
- ③ 招集について、試合開始の5分前にはコートに集合とすること。もし来なければ、呼びかけを実施し、5分以内に来なかった場合はその選手を棄権とみなす。
- ④ 個人参加申込みについては、ベスト8選手同士の組合せを考慮するために戦歴を備考欄に記入してください。
- ⑤ 競技方法や競技服装等については、監督・主将会議にて確認してください。
- ⑥ 進行の都合で試合予定のコートや時間を変更することがありますので、その場合競技者は競技役員の指示に従ってください。
- ⑦ スポーツ傷害保険などは、各自において加入してください。

バレーボール競技実施要項

1. 競技規則

2026年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。

2. 競技種目

男子6人制及び女子6人制の2種目とする。

3. 出場資格

- ① 関東ろう連盟体育部に登録した者により1都7県単位に編成したチームとする。
- ② 都県単位でチームを編成できない場合は、他県チーム（関東地区内）に加入することができる。但し、居住するチームがあるにもかかわらず、他の都県チームへの参加に、やむを得ない事情がある場合は、両チームの都県体育部長と当事者との協議によって同意を得る、かつ、その証明する文書に当事者の署名と捺印をもって有効とする。同意を得た後の苦情・クレームは受け付けないとする。
- ③ 当事者が、居住するチームに加入しなくても、居住チームが編成が可能な場合、当事者は他の都県チームへの加入することができる。但し、居住先及び加入先の都県体育長及びチーム代表者に報告をし、確認書に前記4名の署名と捺印をもって有効とする。
- ④ 上記以外のケースに関しては、体育部長及び技術委員の指示を仰ぐ。

4. チームの編成

- ① 1チームの編成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手14名の（内リベロ2名）の計17名以内とする。
- ② 監督、コーチ、マネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿にも登録されていなければ選手として出場できない。
- ③ 構成員以外のベンチ入り及び公式練習への参加は出来ない。

5. 競技方法

- ① 参加チーム数によりトーナメント方式、又はリーグ戦については組み合わせ抽選・打ち合わせ会において決定する。
- ② 全試合3セットマッチとする。
- ③ 3セット目の15点及び25点については、抽選・打ち合わせ会において決定する。
- ④ 試合間の休憩は、30分とする。試合進行状況により15分に変更することがある。
- ⑤ リードしているチームが13点取った時、水分補給を目的とした60秒のタイムが行われる。但し、選手の水分補給・汗拭き取り以外の行為は不可とする。（監督・コーチ・マネージャーを交えての会話は禁止）
※ルール（5）に関しては、当日の状況により、本ルールを適用するかしないかを、当日の朝、代表者に連絡する。

6. 申し合わせ事項

- ① 監督・コーチ・マネージャー・選手（背番号を含む）の変更は認める。

- ② 特別な理由（突発的な事故、病気等）がある場合に限り、選手の変更並び背番号の変更は、今大会の競技実施要項の規定（所定の用紙に理由を明記して、大会前日までに提出する）に従って認められる。但し、追加の申込みは、一切認められない。
- ③ 監督・コーチ・マネージャーそれぞれの記章マークのワッパンを各チームで揃えること。
- ④ 大会当日の受付で試合に必要な（ローテーション表）を渡す。
- ⑤ 主将は、ジャージ色と異なった色の幅2cm長さ8cmのマークをユニフォームの胸の番号の下に明確に付けること。

7. 使用球

（公財）日本バレーボール協会検定球（5号球）を使用する。
※ボールメーカーについては、決定次第、各チームに連絡する。

8. 組み合わせ抽選

- ① 監督・主将会議において、抽選を行う。
- ② 監督・主将会議において、監督・主将が共に欠席したチームには、原則として出場を棄権したものとみなす。代理人が出席する場合は、事前に監督または主将が作成した委任状を作成しなければならない。

9. 表彰

- ① 優勝チームに優勝カップ（持ち回り）を授与する。
- ② 賞状及びメダルに関しては、参戦チーム数に応じて授与チーム数を決定する。
※決定内容は、監督・主将会議にて連絡する。
- ③ 個人表彰については、最優秀選手賞を授与する。

10. その他

スポーツ傷害保険等は、各チームにおいて加入しておくことが好ましい。

11. 本要項の改正

一部改正 2015年8月29日
一部改正 2024年1月 6日

サッカー競技実施要項

1. 競技種目

サッカー競技とする。

2. 競技規定

大会開催年度の(公益財団)日本サッカー協会規定の「サッカー競技規則」及び本大会申合せ事項による。

3. 出場資格

- ① 関東ろう連盟体育部に登録した者により1都7県単位に編成したチームとする。
人数が多い場合、人数によってA Bとチームを編成できる。
但し、A Bとも同一都県名に限る。
- ② 県単位にチームを編成できない場合は、他県のチームに（関東地区内）に加入することができる。

4. チームの編成

- ① 1チームの編成は、監督、コーチ、トレーナー等のチーム役員を含め、22名内とする。
- ② 特別な理由（突発的な事故、病気等）がある場合に限り、選手の変更並びに背号の変更は、今大会の競技実施要項の規定（所定の用紙に理由を明記して大会前日に提出する）に従って認められる。但し、追加の申込みは認められない。

(補足) GKが1名のみ登録であっても差し支えないがGKが負傷・退場などによりプレー続行が不可能となった場合は、フィールドプレイヤーがGKを務めるものとする。その際は、GKとして識別できるユニフォーム（ホーム用またはアウェー用のGKシャツ等）を着用すること。背番号は変更しなくてよい。なお、代替りのGKを試合前に申告する必要はないが、申告を行う場合はメンバー表交換時に行うものとする。

5. 競技方法

- ① リーグ戦又は、トーナメント方式とする。
- ② 試合時間は、リーグ戦方式およびトーナメント方式は70分（35分ハーフ）とする。
WBGTが28℃以上の場合は飲水タイム（1分）を、WBGTが31℃以上の場合はクーリングブレイク（2分）を前半・後半それぞれに設ける。
飲水タイムは前後半の半分が経過した頃、クーリングブレイクは前後半の3分の2が経過した頃に実施し、主審は視覚的な合図で開始・終了を示すものとする。
WBGTの測定は第4審判が行い、実施の有無は大会本部（現場責任者を含む）がWBGT値に基づいて判断する。
ただし、大会本部が必要と認めた場合は、その判断を第4審判に委ねることができる。
前半と後半でWBGTが異なる場合は、その時点のWBGTに応じて実施内容を決定する。

③ トーナメント戦の場合：以下の通りとする。

<決勝戦>

同点の時は20分の延長戦を行い、延長でも同点の時はPK戦とする。

<上記以外>

PK戦のみ行う。

リーグ戦の場合：勝点によって順位を決定し、延長戦は行わない。

6. リーグ戦の順位決定について

リーグ戦の成績は、勝点の合計によるものとする。

- ① 試合の勝者は3点、引き分けは1点、敗者0点とする。
- ② 全試合の得失点差の多い順
- ③ 全試合のゴールアベレージ
- ④ 当該チームの対戦成績
- ⑤ 抽選

7. 使用球

試合球は、(公益財団)日本サッカー協会公認5号球とする。

8. 組み合わせ抽選

① 監督・主将会議において、抽選を行う。

本抽選のくじ引き順を決める予備抽選は当会議への出席受付順とする。

② 監督・主将会議において、監督・主将が共に欠席したチームは、原則として出場を棄権したものとみなす。

代理人が出席する場合は、事前に監督または主将が作成した委任状を提出しなければならない。

③ 組み合わせ方法は、競技実施要項に基づくものとするが、最終的には参加申し込みチーム数に応じて、主催者と競技主管が協議して決定する。前大会の成績によるシード制を採用することがある。ホーム・アウェーのユニフォーム一式を持参すること。

(GK用も含む)

9. 交代

選手の交代は、1試合につき5名までとする。

交代を行える機会は、前半・後半それぞれ3回までとし、ハーフタイムは交代機械に含めない。

交代した選手の再出場は認めない。

脳震盪が疑われる場合は、主審が試合を停止し、救護担当者(看護師等の医療資格者)による確認を行う。

救護担当者がプレー続行不可能と判断した場合、主審は追加の交代を認める。

この交代は通常の交代枠および交代機械とは別扱いとし、控え選手の中から人数の制限なく行うことができる。

10. 警告・退場者の取り扱い

① 退場

退場を命じられた選手は、次の試合には出場することができない。
処分(1試合又は2試合)は試合終了、本部で決定し、チームに通告する。

② 警告

1試合あたり2枚の警告累積で、次の試合には出場することができない。

11. 危険物

※ 接触プレー時の負傷防止の観点から、競技に関わる時間帯における補聴器の装着は禁止とする。

競技中およびベンチにいる間は、補聴器の装着を認めない。

スポーツ眼鏡等の装具については、安全性を主審が確認した上で使用を認める。

12. ユニフォーム

① 参加申込書に登録されたものを原則とし、参加申込書送付後の変更は認めない。

なお、選手番号の変更も認めない。

② 正のユニフォームの他、異なる色のユニフォーム(副)を参加申込書に記載し、試合には必ず正副のユニフォームを携行すること。(GKも正副揃える)

③ 選手番号は必ず参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。

【ユニフォームに取り付ける選手番号について】

・シャツの背中 高さ25cm

・シャツの前面 右側・左側・中央に高さ10cm

・パンツの右側又は左側に高さ8cm(シャツの番号と同一)

④ 試合におけるユニフォームの決定は1回戦は監督・主将会議で行う

(※会議には、ユニフォーム一式(ホーム・アウェー、GK用も含む)持参の上、出席のこと。2回戦以降は、メンバー表交換の場で決める。

⑤ インナーシャツ、サーマルアンダーショーツ(スパッツ)を着用する場合は、シャツとショーツの主な色と同色とする。

⑥ ソックスの下に着用するアンダーソックス(カットソックスを含む)は、外から見える部分についてソックスと同じ色のものを使用すること。

また、ソックスに巻くテープやバンドも、外から見える部分はソックスと同じ色とする。

⑦ ピアス等の装飾品は、安全確保のため着用を禁止する。

テーピング等で覆っての着用も認めない。

また、危険物に該当するものは一切持ち込まないこと。

13. 審判の合図

※ 本大会の特性に配慮し、笛の音と併せて視覚的な合図を用いる。

フリーキック、PK、プレスキックで、キッカーに蹴らせるタイミングを知らせる笛の代わりに、笛がなり始めてから終わるまでの間、主審は片手を前に水平に伸ばして示すものとする。

14. 表彰

表彰は決勝戦終了後、閉会式において行う。

- ① 団体戦5チーム以上出場した場合は、優勝チームに優勝カップ（持ち回り）・賞状・メダルを2位、3位チームは、賞状・メダルを授与する。
- ② 団体戦4チーム以上出場した場合は、優勝チームに優勝カップ（持ち回り）・賞状・メダルを2位チームは、賞状・メダルを授与する。
- ③ 団体戦3チーム以下出場した場合は、優勝チームのみ優勝カップ（持ち回り）・賞状・メダルを授与する。
- ④ 個人表彰は、最優秀選手賞・得点賞・敢闘賞を授与する。
- ⑤ 個人表彰は最優秀賞(1名)・敢闘賞(1名)とし、選考は競技主管である開催地サッカー協会が行う。

15. 本大会は、テクニカルエリアを設ける。

テクニカルエリアの使用について、チーム役員は、その都度1名がテクニカルエリアから戦術的指示を与えることが出来る。指示を伝えたら、所定の位置に戻らなくてはならない。全てのチーム役員は、その中に止まっていなければならないし、責任ある態度で行動しなければならない。

16. 審判補助員の配置

大会本部は、試合運営を円滑に行うため、可能な範囲で審判補助員を配置する。審判補助員を配置できない会場においては、主審および副審が協力して試合を進行するものとする。

17. その他

- ① 大会中の負傷・病気については、応急手当のほかは主催者では行わない。
- ② スポーツ傷害保険等は、各チームにおいて加入しておくこと。

≪ 注 意 事 項 ≫

① メンバー表の提出

メンバー表は3部複写とし、3部提出し確認を受けること。1部はチーム控えとして返却する。

メンバー表、交代用紙は監督・主将等合同会議にて配布する。第1試合については、試合開始予定時間の40分前に競技本部に提出すること。

以降の試合については、前の試合のハーフタイム時に提出すること。

試合に勝ったチームは、試合終了後に次の試合のメンバー表を競技本部まで取りにくること。

② 交代用紙

交代用紙は5枚配布する。用紙には、時間、選手名(フルネーム)、監督のサインを記入すること。

③ チーム・ベンチ

- (1) 第4審判員席からグラウンドに向かって左側のベンチは組み合わせの左側のチームが、右側ベンチは組み合わせの右側のチームが使用する。
- (2) テクニカルエリアに設置されたベンチには、12名が着席出来る。

④ 練習時間

グラウンドでの練習は、試合開始20分前より10分前とする。
ただし、大会運営上支障があるときは、変更することがある。

⑤ 競技の組み合わせ

組み合わせ方法は競技実施要項にもとづくものとするが、最終的には参加申し込みチーム数に応じて、主催者と競技主管が協議して決定する。前大会の成績によるシード制を採用することがある。

⑥ その他

注意事項は、チーム全員に徹底しなければならない。

18. 本要項の改正

一部改正2026年 2月 7日 関東体育部委員会

テニス競技実施要項

1. 競技規則

(公財)日本テニス協会2026年版競技規則による。
(以下JTA競技規則)

2. 競技種目

男子・女子ともシングルスとダブルスの合計4種目とする。

3. 出場資格

- ① 出場人数について、各都県に制限を設けない。
- ② ダブルス種目で1人だけ余剰の選手は他都県の選手と組む事が出来る。申し込む場合は、選手2人が申し合わせの上、体育部長及びテニス部長、監督の承認を得ること。ダブルス同意書は選手登録申請と同様、通常締め切りとする。但し、シード権対象者は除外とする。
- ③ 通常締め切り後の追加・キャンセル・取消は原則として認めない。

4. 競技方法

- ① 各種目とも予選リーグ戦又は、決勝トーナメント方式とする。但し、申込数により決定する。(シングルス戦の場合1日1人あたり男子6試合女子5試合を限度とする。)
- ② シード順位は昨年度関東ろう者体育大会成績を対象とする。
- ③ 1セットマッチ6ゲームオール7ポイント・タイブレークとする。
- ④ JTA 競技規則第三部トーナメント諸規程・諸規則等7. チェアアンパイアのつかない試合規則を全て適用する。よって、適当数のロービングアンパイアを置かなければならない。

5. 申し合わせ事項

- ① 競技方法(1)について、運用方法は内規のとおり適用する。
- ② コートはオムニとする。
- ③ 試合は、発表されたオーダーオブプレーに従い、遅滞無く続けなければならない。
(JTA競技規則による)
- ④ 試合開始前のウォーミングアップは、3分間とする。但し、試合進行状況により変更する場合もある。使用したボールの処分は競技委員の判断による。
- ⑤ 競技服装はJTA競技規則による。
- ⑥ 競技中は、補聴器の装着を認めない。
- ⑦ 雨天の場合、競技委員(本部)が判断する。

6. 使用球 JTA公認ボールとする。

7. 表彰

- ① 各種目とも、1位から3位までに賞状・メダルを授与する。
- ② 出場人数が3名以下あるは3ペア以下の場合、1位のみ賞状・メダルを授与する。

8. 組み合わせ

監督・主将会議の当日、J T A 競技規則及び内規に従って抽選を行なう。

9. その他

① 打ち合せ等で意見があれば検討の上、決定する。

② スポーツ傷害保険等は、各自において加入しておくこと。

ボウリング競技実施要項

1. 競技規則

大会開催年度のJ B選手権競技会規程、J Bボウリング競技規則及び本大会申合わせ事項による。

2. 競技種目

- ① 団体戦（男・女別）
- ② 個人戦（男・女別）

3. 参加資格

- ① 関東ろう連盟体育部に登録会員であること
- ② 個人戦は、人数制限を設けない。

4. チーム編成

- ① 男子は4名、女子は2名とよる。
- ② 県弾位にチームを編成できない場合、他県（関東地区）から男子2名、女子1名まで加入することができる。
注…①他県にチームを編成する際、【様式－2】選手参加証明書を提出する。

5. 競技方式

デュアルレーン方式（アメリカ方式）で実施する。

6. 競技方法

- ① 男女別団体戦は6ゲームの競技を行い（1ゲーム毎にレーン移動）、その合計得点によって順位を決定する。
- ② 男女別個人戦（予選）は6ゲームの競技を行い（1ゲーム毎にレーン移動）、その合計得点により上位男子20名、女子8名（参加人数により変更する場合がある）を選出し、決勝出場者とする。
- ③ 男女別個人戦（決勝）は選出された選手が更に3ゲームの競技を行い（1ゲーム毎にレーン移動）予選、決勝の合計9ゲームの総得点によりそれぞれの選手権者並びに順位を決定する。

注…①個人戦決勝（参加人数に人数）に進出する。

男子：40名以上で24名：39名～30名で20名：29名～30名で16名：19名以下で14名

女子：20名以上で12名：14～19名で8名：13名以下6名

7. 同位の裁定

各種目において同位が生じた場合、J Bボウリング競技規則第133条に基づき裁定する。

8. 競技日程

【第1日目】

男子・女子・個人戦（6ゲーム）スタート

男子（6ゲーム合計上位 名勝進出）

女子（6ゲーム合計上位 名勝進出）

前半3ゲーム後半3ゲーム間に休憩5分

個人戦終了後休憩10分

男子・女子・団体戦（前半3ゲーム）スタート

男子（1チーム4名×3ゲーム）

女子（1チーム2名×3ゲーム）

【第2日目】

男子・女子・団体戦（後半3ゲーム）スタート

男子（1チーム4名×6ゲーム合計で上位順位決定）

女子（1チーム2名×6ゲーム合計で上位順位決定）

男子・女子・個人戦決勝（3ゲーム）スタート

男子（9ゲーム合計上位順位決定）

女子（9ゲーム合計上位順位決定）表彰式（大会全競技終了）

※上記の競技時間は進行の都合により変更することがあります。

9. 注意事項

- ① 2チーム以上参加する連盟は、申し込み時点でAチーム、Bチームを明確にすること。
- ② 公認ゲーム消化証明は各連盟の責任において確認すること。
- ③ 大会に使用するボールの持ち込みは会場まで6個以内（2バッグまで）とし、ボールトレイは2個（スペア含まない。スペアは予備トレイかボールトレイの下に置く）に自粛すること。但し、ボウラズエリアへの持ち込みは1人4個（スペア含む、1バッグ）までとする。
- ④ 主催者として傷害補償責任等は一切負わない。各自において保険証（原本または写し）を持参するとともに、事故や怪我等に備え補償を受けられるスポーツ傷害保険等へ加入すること。
- ⑤ 競技中は、補聴器の装着を認めない。
- ⑥ 競技中トラブルが生じた時は競技を一時中断し、競技委員の指示に従うこと。
- ⑦ 競技服装はJ Bボウリング競技規則第137条に基づき従うこと。
- ⑧ 団体戦の服装（上着のみ）の時、メーカーと同色を揃えて着用すること。

10. 表彰

- ① 団体戦 男・女別：優勝～第3位
- ② 個人戦 男・女別：優勝～第6位
- ③ 個人HG/HS賞：男・女別（予選6ゲーム対象・スクラッチ）

注…(1) 優勝杯は持ち廻り

注…(2) 団体戦チーム数によって賞状・メダルに授与の受け方が異なる。

5チーム以上出場した場合、優勝～第3位まで賞状・メダル(優勝のみ杯)に授与する。

4チーム出場した場合、優勝～第2位まで賞状・メダル(優勝のみ杯)に授与する。

3チーム以下出場した場合、優勝のみ優勝杯・賞状・メダルに授与する。

注…(3) 個人戦は、優勝～第3位までに賞状・メダルを、第4位～第6位まで賞状を授与する。

11. その他

12. 本要項の改正

一部改正2016年11月27日 関東体育部委員会

全部改正2025年 3月 6日 関東体育部委員会

一部改正2026年 2月 7日 関東体育部委員会

ゲートボール競技実施要項

1. 競技規則

大会開催年度の（公財）日本ゲートボール連合「公式ゲートボール競技規則」審判実施要領及び大会申し合わせによる。

2. 競技種目

ゲートボール競技とする。

3. 出場資格

1都7県単位に編成した団体で、関東ろう連盟加盟団体の正会員でかつその団体に登録した者。何チームでも参加できる。

4. チームの編成

- ① チームの編成は、競技者5名以上7名以内とし、年齢・性別の制限はしない。
- ② チームを編成できない場合（4人以下の場合）は他県チームに編入、もしくは他県チームと編成することができる。

5. 競技方法

※参加チーム数により、変更する可能性がある。

- ① 予選リーグ戦、決勝トーナメント戦とする。
- ② 競技時間は、30分とする。
- ③ リーグ戦各コートの上位2チーム（1・2位）が決勝トーナメント戦に進出する。
- ④ 参加チーム数によっては、予選および決勝トーナメント戦を行わず、リーグ戦または変則リンク戦により、順位を決定する。
- ⑤ 特別な理由（突発的な事故、病気等）がある場合に限り、選手の変更は今大会実施要項の規定（特定の用紙に理由を明記して大会前日までに提出する）に従って認められる。但し、追加の申し込みは一切認められない。

6. 使用球

開催地で用意する。

7. 組み合わせ抽選

主将会議において、地元審判員及び役員にて抽選を行う。

8. 表彰

- ① 優勝チームに優勝カップ（持ち回り）・賞状・メダルを、準優勝チーム・3位チーム賞状・メダルを授与する。
- ② 個人表彰は最優秀選手賞 ・敢闘賞を授与する。

9. 注意事項

- ① コートの運営
 - （ア）コートは、インサイドライン縦15m、横20mとする。
 - （イ）会場の関係でアウトサイドライン、スタートエリア、得点ボードは設けない。
 - （ウ）待機エリアは第4コーナー付近の第3ライン側と第2コーナー付近の第1ライン側にするが、ライン区画はしない。また、椅子は置かない。

(エ) 競技者はインサイドライン外側50cm以上離れていること。また、主将の指示も同様とする。

(オ) 選手待合所は設けない。

② 競技進行

(ア) 先攻・後攻はリーグ戦の第1試合から第4試合までは組み合わせ表によって行う。第5試合以降、トーナメント戦までは主審がコイントスで決める。

(イ) リーグ戦の順位決定方法は次の順序による。

①勝ち数 ②得失点差 ③対戦結果 ④総得点

(ウ) 競技没収に対しての得点は0：0とする

(エ) 競技没収されたチーム及びリーグ戦を棄権するチームがあった場合は、残りチームの対戦結果にて代表チームを決定する。

(オ) 10秒ルール警告は8秒、9秒、10秒と審判が身振りによって警告をする。

③ 用具等

(ア) スティックは参加者が持参するものとする。

(イ) 主将の腕章はチームが用意する。

(ウ) 大会使用球は実行委員会が用意する。

(エ) 打順の番号表示ゼッケンはチームが用意する。

(オ) 主将の表示はスティックを使わず、手で表示すること。

(カ) 次の試合に出場するチームは、競技終了の10分前に、オーダー表を持って第4コーナー付近に、集合セレモニーを済ませ、待機すること。

(キ) オーダー表は試合の都度、コート of 審判員に渡すこと。

④ ユニフォーム

ユニフォームは、チームとして統一したものを着用しなければならない。

10. その他

スポーツ傷害保険等は、各自で加入しておくこと。

11. 本要項の改正

一部改正	2015年	3月21日	関東体育部委員会
一部改正	2015年	8月29日	関東体育部委員会
一部改正	2016年	5月21日	関東体育部委員会
一部改正	2017年	11月26日	関東体育部委員会
一部改正	2019年	3月31日	関東体育部委員会
一部改正	2024年	3月24日	関東体育部委員会

ソフトボール競技実施要項

1. 競技規則

2026年度（公財）日本ソフトボール協会オフィシャル・ルールによる。

2. 競技種目

ソフトボール競技とする。

3. 出場資格

関東ろう連盟体育部に登録した者により1都7県単位に編成したチームとする。

東京都、茨城県、神奈川県、群馬県、栃木県、千葉県、埼玉県、山梨県、

・但しチーム数について、都県のチーム数の制限は設けない。

〔※優勝、準優勝、3チームが全国ろうあ者体育大会に出場する。繰上げ出場の場合は、順次最大5位までとする〕

4. チームの編成

① チームの編成は、監督・コーチ・マネージャー・スコアラーを含む20名以内とする。

監督またはコーチ・マネージャー・スコアラーが選手として出場することはできるが、選手として出場する場合は、20名の範囲内で登録しなければならない。

② 特別な理由（突発的な事故、病気等）がある場合限り、選手の変更並びに背番号の変更は、本大会の競技実施要項の規定（所定の用紙に理由を明記大会前日までに提出する）に従って認められる。但し、追加の申込みは一切認められない。

③ 県単位にチームを編成できない場合は（8人以下の場合）、他県のチームに（関東地区）加入することができる。又は2つの加盟団体を連合チームにすることができる。

(1) 二つの加盟団体のユニフォームをそれぞれ使用することを可とする。

但し、背番号については連合チーム内で異なる番号であることが条件。

(2) 申込み締め切り後の登録・変更については認められない。

(3) 全国ろうあ者体育大会出場に4名まで参加できる。

5. 試合方法

① 対戦方法は4チームの場合リーグ戦方式とし、5チーム以上の場合にはトーナメント戦方式にする。但し参加チームが少ない場合（4チーム以下）はリーグ戦で7回戦とする。

② 【リーグ戦方法】

(1) 試合は、5イニング制と時間（90分）を併用し、先に達した時に試合終了とする但し、5回を終了、または、90分越えた時点のイニング終了で同点の場合次の回よりタイブレーカーを適用する。

【トーナメント戦】

(2) 試合は、5イニング制と時間（90分）を併用し、先に達した時に試合終了とする。但し、5回を終了する。

6. 競技方法

① 90分を越えて新しい回に入らないものとする。5回まで達した場合は規定時間に達しなくても終了とする。

② 3回15点・4回10点・5回以降7点以上の差が生じた場合は、得点差コールドゲームとする。

- ③ 日没・降雨・その他プレーヤーが危険にさらされる恐れが出た場合は、コールドゲームとする。5回あるいはそれ以上の回を終了するかは、その5回裏の後攻チームが攻撃中であっても、後攻チームが先攻チームより多くの得点をした場合は、コールドゲームとして試合は成立する。
- ④ 故意四球は、守備側チームが投球せずに故意に打者を1塁に歩かせるため、投手、補手あるいは監督が球審のその旨を通告する。

7. 使用球

ナガセケンコー3号球

8. 組み合わせ抽選

- ① 監督・主将会議において、抽選を行う。
- ② 監督・主将会議において、監督、主将が共に欠席する場合は、事前に監督、主将が作成した委任状を提出しなければならない。

9. 表彰

- ① 決勝戦終了後、閉会式において行う。
- ② 表彰は、最高殊勲選手賞・最優秀選手賞・首位打者賞・敢闘賞とする。
(1回戦から決勝戦までの全試合を選考基準対象とする。)

10. その他

- ① ダブルベースを使用すること。
- ② 外野フェンスを設定すること(68.58m以上)。
- ③ ベンチに入る人数は本大会登録人数とすること。
- ④ 選手の傷害保険は、各チームにおいて加入しておくこと。
- ⑤ グランドの件、できる限りソフトボール専用とか、野球専用で使用する。
- ⑥ 第1試合開始前に始球式を行なう。
- ⑦ 競技ルール以外の場合は、実行委員会と競技委員の打ち合わせを行うこと。
- ⑧ その他詳細については参加チームに直接連絡するとともに監督・主将で定める。

《 注 意 事 項 》

1. 選手の集合時間

- ① 試合開始予定時刻の30分前、または前の試合3回終了までに、当該球場に集合すること。遅れた場合は、原則として棄権とみなす。
- ② 没入試合について
規則違反、またはトラブルが生じた場合審判が判断し、試合終了を宣告することができる。過失のないチームは(7-0)で勝ちとする。但し、ペナルティはこの試合限りとする。

2. 打順表の記入と提出

試合開始予定時刻の30分前、または前の試合5回終了までに、打順表(4枚1組複写)必要事項を記入し、必ずふりがなをつけて球場本部に提出すること。
相手のチーム打順は、審判・記録員の照合確認の上、審判員より受け取る。

3. 攻守順の決定

打順表提出の時、審判員立会いのもと「コイン」のトスによって決定する。

「コイン」の裏表は先着（打順表持参）チームに優先権を与える。

4. 競技者席

組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。ベンチに入る人数は要項で定められた者以内とする。

5. フィーディング

- ① 競技場に入ることを許されたメンバーで行うこと。
- ② 後攻チームより5分間とし、審判員の指示に従うこと。
- ③ 大会進行上、時間の短縮及び省略することもある。

6. 競技用具

- ① バット、両耳ヘルメット（J S A）の点検をし、規定以外のもの及び危険と思われる用具は、試合終了まで、球場本部席で保管する（試合終了後、受け取りにくること）。
- ② 同一チームの選手のユニフォームは同色で統一された品位あるものであること。また、帽子は同一のものとする。
- ③ 背番号は監督30番・コーチ31番、32番・主将10番・選手は1番から99番までとする。
- ④ 攻撃中の打者、次打者、走者はヘルメットを着用しなければならない。
- ⑤ 守備中の捕手は、スロートガード付マスク、ヘルメット、レガースを着用しなければならない。ボディプロテクターを着用しなければならない。
- ⑥ 捕手（または他のプレーヤー）は準備投球する時も、スロートガード付マスクを着用しなければならない。
- ⑦ 金属製スパイク使用は認めない。また、危険行為をした場合は退場とする。
- ⑧ コーチBOX内にヘルメットを着用しなければならない。
- ⑨ スコアラー、マネージャーの帽子を着用する（選手同様とする）

7. 競技開始

- ① 「集合準備」の指示で自己のベンチ前に列横隊に立つ。
- ② 「集合」の号令と同時に駆け足でホームプレートをはさんで整列する。

8. 攻守交替・選手交替

- ① すべて、駆け足で敏速に交替を行う。
- ② 選手の交替は、監督が球審にすみやかにその旨、通告すること。

9. 攻守交替のボール

別に指示があった時以外は審判員に渡さない。

10. 抗議

審判員の判定に基づく判定に対して抗議することは許されない。ルール上の疑義については、監督に限り、これをただすことができる。

11. その他

雨天の際の処置について

- ア) 小雨決行
- イ) 試合を中止、又は開始時刻を変更する場合は大会本部から各チームに連絡する。但し、雨天の場合は必ず競技場で集合すること。
- ウ) 午前中雨天でも、天候の回復状況により試合を開始することもある。
- エ) 大会の負傷・病気については、応急手当は、主催者側では行わない。

- オ) 雨天の時により試合を中止にする場合は決勝戦は両チーム優勝とする。
3位決定戦は抽選を行い、3位決定とする。

12. 「附則」

1. 参加条件

- ① 住民票のある地域または本籍地のある地域の都県とソフトボール部がある場合どちらかに入部しなければならない。
- ② (1)該当しない場合はソフトボール部のある他県に自由に入部できる。

2. 要項について次の措置を行う。

パターン	1日目	2日目	備 考
A	決 行	雨天中止	その他(木)を適用と試合時間短縮(60分)
B	雨天中止	決 行	試合時間短縮(60分)
C	雨天中止	雨天中止	9人抽選で決める。 (全国ろうあ者体育大会出場のため)

13. 本要項の改正

- 一部改正 2015年8月29日 関東体育部委員会
一部改正 2020年4月 1日 関東体育部委員会

バドミントン競技実施要項

1. 競技規則

大会開催年度の(公益財団法人)日本バドミントン協会競技規則並びに公認審判員規程、大会運営規による。

2. 競技種目

男子・女子ともシングルス及びダブルスと混合ダブルスの5種目とする。

※但しエントリー状況により、変更する場合がある。

3. 参加資格

① 男子・女子シングルス及び各ダブルスについての参加人数の制限はしない。

② ダブルスのペアについては基本的に同一加盟団体内での組むこと。しかし、各ダブルス種目余剰の選手一名については、他加盟団体参加選手と組むことを認める。(ダブルス同意書は、選手登録申請と同様、通常締め切りとする)

4. 競技方法

各種目とも予選リーグ戦、決勝トーナメント方式及び三位決定戦で行う。但し、参加状況により、トーナメント方式で行うことがある。競技方法の決定は競技主管で行う。

予選リーグ：15点 2ゲーム先取(延長なし)

決勝トーナメント：21点 2ゲーム先取(延長あり30点まで)

※リーグ戦順位決定基準

(1) 勝ち試合のうち2-0は(2点)、2-1は(1点)、
負け試合のうち0-2は(-2点)、1-2は(-1点)とし、
合計点数の多いほうから上位とする。

(2) 勝ち点合計が2選手以上同数の場合は、次の方法により順位を決める。

全試合(対戦)の取得ポイント総数をA、喪失ポイント総数をBとし、その得失ポイント差が大きいほうを上位とする。

5. 使用シャトル

(公財)日本バドミントン協会検定合格品とする。

6. 組み合わせ抽選

① 参加申込締切後、実行委員会においてレフェリー立会いのもとで、代理抽選により決定する。

② 男女シングルスは前回4位まで、ダブルスは前回2位までをシードする。

7. 表彰

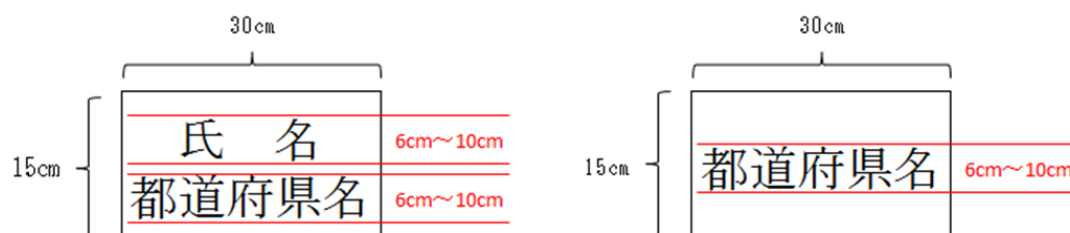
各種目とも、競技終了後閉会式において行う。

8. 競技服装

(公益) 日本バドミントン協会審査合格品とする。

ウェアの背面表示は、(公財) 日本バドミントン協会 大会運営規程第 24 条に準ずるものとする。

- ① ゼッケンを使用する場合には必ず四隅を固定すること。
- ② 背面中央には必ず「プレーヤー名・都道府県名」「都道府県名」のいずれかとする。
日本文字で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。
- ③ スポンサー、チームデザインを入れないこと。



9. 競技審判上の注意

- ① 試合中は補聴器・人工内耳の体外パーツ等を外した裸耳状態で行うこと。
- ② 選手はコールを受けた後、5分以内にコートに入ること。
- ③ 進行状況により、試合開始時間・日程及びコートの変更をすることがあるので、場内放送(掲示)に充分注意すること。
- ④ サービスジャッジは、準決勝より付けるものとする。その他の試合においては原則として付けない。
- ⑤ 試合を連続して行う場合のインターバルは10分以上とする。
- ⑥ 各試合(マッチ)のインターバルは次の通り
 - (1) すべてのゲーム中、一方のサイドのスコアが11点になった時、60秒を超えないインターバルを認める。(選手は20秒前にはコートに入ること)
 - (2) 第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。(選手は20秒前にはコートに入ること)
- ⑦ インターバル中のアドバイスは、監督・コーチなど同時に2人まで。
主審の「(コート番号) 20秒」で、コートから離れること。
- ⑧ 試合開始前の練習(2分間)をする相手は対戦相手とする。
- ⑨ 試合(マッチ)中の水分補給、汗ふきなどは必ず主審の許可を得ること。
- ⑩ サービスの遅延行為に関する判定は主審が行う。
- ⑪ 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められない。
- ⑫ 審判員の合図について
 - (1) 「アウト」は両腕を水平に広げて合図する。
 - (2) 「イン」は右手でそのラインを指す。
 - (3) 「フォルト」(反則)は両手の小指を絡ませ、左手の小指から下へ切り離すようにする。
 - (4) 「レット」(無効を意味し、やり直し)は、両手の拳を縦横にくっつけて横に寝かせてから、そのまま起き上がらせて立てる。

(5) 「エンドの交代」は、両手を左右に伸ばし、それを前で交差させて示す。

⑬ 次のような違反行為に対しては厳正に対処する。(競技規則第16条)

(1) 息切れなど体力回復等の遅延に関わる行為、又は、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせる行為。

(2) 主審の許可なしにコートを離れること。

(3) 故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。

(4) 審判員や観客に対しての横柄な振舞い、下品で無礼な態度、言動。

(5) 見苦しい着衣でプレーをする。

(6) ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や奇声を発するなどの不品行な振る舞い。

⑭ 競技中の怪我や病気については、主審が判断する。もし必要ならレフェリーを呼び、レフェリーの判断に従うことになる。

⑮ 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められない。

もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができる。ここで質問ができる者とは、当該選手に限る。

⑯ 選手は試合終了後、選手同士の握手の後、主審（サービスジャッジ）とも握手をすることを心掛けること。

⑰ 競技場内では、携帯電話の電源を切るか、もしくはマナーモードにすること。

⑱ 会場内におけるコーチ席利用は参加登録者のみ許可する。

⑲ 試合中にモバイル機器を使用したアドバイス・コーチングを受けることを禁止する。

10. 本要項の改正

一部改正 2016年6月1日

一部改正 2018年2月1日

一部改正 2024年2月1日

フットサル競技実施要綱

1. 競技規定

大会開催年度の公益財団法人日本サッカー協会規定「フットサル競技規則」及び本大会申合せ事項による。

2. 競技種目

フットサル競技とする。

3. クラス

男子部門・女子部門とする。

4. 出場資格

① 関東ろう連盟体育部に登録した者により1都7県単位に編成したチームとする。

② 県単位にチームを編成できない場合は、他県（関東地区内）に加入することができる。

5. チームの編成

① 1チームの編成は、監督・コーチ・マネージャーを含めて15名以内とする。ただし、ベンチに入る交代要員の選手は7名以内とする。（プレーする5名に交代要員最大7名を加えた12名までが選手登録できる）なお、監督・コーチが選手を兼ねる場合は選手名簿に登録されていなければ選手として参加できない。

② 特別な理由（突発的な事故・病気等）がある場合に限り、選手の変更並びに背番号の変更は、今大会の競技実施要項の規定（所定の用紙に理由を明記して大会前日に提出する）に従って認められる。但し、追加の申し込みは認められない。

6. 競技方法

① リーグ戦もしくはトーナメント戦方式とする。方式・試合時間も含め本部または監督・主将会議で協議の上、決めるものとする。

② リーグ戦は対戦チームとの勝敗が決しない場合でも試合は終了とする。

③ リーグ戦の順位については次の通りとする。

【1】 勝ち点の合計（勝ち：3点・引き分け：1点・負け：0点）

【2】 得失点差の多い順

【3】 総得点

【4】 当該チーム間との対戦成績

【5】 PK（サドンデス方式）

④ 5ファールルールとする。（前半のファール数を後半に持ちこまない）

⑤ 各チーム、前半・後半各1回タイムアウト（1分間）を取ることができる。

⑥ トーナメント戦では、対戦チームとの勝敗が決しない場合、PK戦（3人）を行う。

7. 使用球

試合球は（公財）日本サッカー協会公認フットサルボール4号球とする。審判の承認を得ずに競技中にボールを交換してはならない。

8. 組み合わせ・試合順

- ① 監督・主将会議において抽選を行う。本抽選のくじ引き順を決める予備抽選は同会議への出席受付順とする。
- ② 監督・主将会議において、監督・主将が共に欠席したチームは原則として出場を棄権したものとみなす。代理人が出席する場合は、事前に監督または主将が作成した委任状を提出しなければならない。
- ③ 組み合わせ方法は競技実施要項に基づくものとするが、最終的には参加申し込みチーム数に応じて主催者と競技主管が協議して決定する。

9. 警告・退場者の取り扱い

退場を命じられた選手は次の1試合もしくは2試合に出場することができない。

処分（1試合または2試合）は試合終了後、審判委員会で決定しチームに通告する。

警告を2回受けた選手は次の試合に出場する事ができない。

なお、警告及び退場による罰金は無しとする。

10. 危険物

競技中はメガネ及び補聴器・指輪・ピアス・ネックレスの装着は認めない。

（スポーツメガネについては審判団と協議の上、決定する）

11. 服装

- ① 正規のユニフォームの他に、これと異なる色系統の副のユニフォーム（上衣・パンツ・ストッキング、それぞれについても異なる色系統とする）を携行し、ユニフォームには背番号・胸番号・パンツ番号をつける。
- ② 選手番号は、必ず参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること
- ③ ユニフォームに取り付ける選手番号の位置については、
 - ・シャツの背中：高さ25cm
 - ・シャツの前面・右側・左側・中央に高さ10cm
 - ・パンツの右側又は左側に高さ8cm（シャツの番号と同一）
- ④ 参加申込書にはユニフォーム・パンツ・ストッキング（正・副の色系統2種類）を明記する。
- ⑤ 同系色と判断される場合は、メンバー表提出に主審のコイントスによりそれぞれチームの色を決定する

12. 審判の合図

フリーキック・PK・プレースキックでキッカーに蹴らせるタイミングを知らせる笛の代わりに笛が鳴り始めてから終わるまでの間、主審は片手を前に水平に伸ばして示すものとする。

13. 表彰

① 決勝戦終了後、閉会式において行う。

優勝チーム（男女各1チーム）及び準優勝チーム（男女各1チーム）に賞状・メダルを表彰する。

② 個人表彰は最優秀選手賞、得点王、敢闘賞（男女各1名）を授与する。

14. 注意事項

① 競技用具のチェック

試合開始前に背番号・胸番号・パンツ番号・危険物の着用・すね当ての検査を行う。

② メンバー表の提出

メンバー表は3部複写とし、3部提出し確認を受けること。

1部はチーム控えとして返却する。

第1試合については試合開始予定時間の30分前に競技本部に提出すること。

以後の試合については前の試合のハーフタイム時に提出すること。

③ チーム・ベンチ

競技組み合わせ表の番号の若いチームが予備審判席からコートに向かって左側のベンチとする。なお、ベンチに座る選手は必ずビブス着用のこと。

④ 練習時間

コートでの練習は試合開始15分前から5分前とする。ただし、大会運営上支障がある時は変更することがある。

⑤ その他

大会中の負傷・病気については応急手当のほかは主催者では行わない。

スポーツ傷害保険等は、各チームにおいて加入しておくこと。

各種届出書式一覧表

【様式— 1】 委任状

【様式— 2】 選手参加証明書

【様式— 3】 ダブルス組み合わせ同意書

【様式— 4】 緊急登録選手変更届【特別な理由（突発的病気・事故など）】
（野球、バレーボール、サッカー、ゲートボール、ソフトボール、フットサル競技用）

【様式— 5】 メンバー及び投球順変更届（ボウリング競技用）

【様式— 6】 棄権届（卓球競技用）

注意事項

1. 当様式の書類を提出者が必要部枚（3部）コピーし、必要事項記入の上監督・主将会議にご提出ください。
2. 5月24日（日）監督・主将会議にご提出ください。
（※【様式—1】【様式—2】【様式—3】【様式—5】）
3. 6月26日（金）各都県体育部長にご提出ください。
（※【様式—4】【様式—5】）
4. 6月27日（土）、6月28日（日）競技にご提出ください。
（※【様式—6】）

(様式1)

令和8年 月 日

関東ろう連盟体育部委員会委員長 様

団 体 名 _____

体育部長名 _____ ㊟

監督・主将 _____ ㊟

(* 監督・主将のどちらかを○で囲むこと)

委 任 状

私は、第55回関東ろう者体育大会 _____ 競技の監督・主将会議に出席できませんので、下記の代理人を指名し、権限を委任します。

記

1. 競技種目 _____

2. 代理人氏名 _____

■提出先

5月24日(日) 監督・主将会議に委任状を提出すること。(午前10時まで)

(様式2)

令和8年 月 日

関東ろう連盟体育部委員会委員長様

(選手)
団体名 _____ 印

(チーム先)
団体名 _____ 印

事務局長名 _____ 印

事務局長名 _____ 印

体育部長名 _____ 印

体育部長名 _____ 印

(監督・主将) _____

(監督・主将) _____

(*監督・主将のどちらかを○で囲むこと)

選手参加証明書

私は、第55回関東ろう者体育大会 _____ 競技において下記理由により、地元のチームではなく他県チームでプレイをするため、地元とチーム先の県体育部長双方の確認・許可を得ることができました。つきましては証明書を届出いたします。

1、氏名 _____

2、所属協会名 _____

3、プレイするチーム名：(例：〇〇県女子バレーボールチーム) _____

4、他のチームに加入する理由 _____

5、() チームの選手人数不足 (○をつけてください。) _____

*参加申し込み手続きも、参加料支払いも、申請した協会を通して行います。

<提出先> 5月24日(日)までに各都県体育部長へ届出厳守とする。(午前10時まで)
FAXによる提出や期限を過ぎての提出は認めない。

(様式3)

年 月 日

関東ろう連盟体育部委員会委員長様

団 体 名 _____

体育部長名 _____ ㊞

監督・主将 _____ ㊞

(*監督・主将のどちらかを○で囲むこと)

氏 名 _____ ㊞

ダブルス組み合わせ同意書

私は、第55回関東ろう者体育大会 _____ 競技のダブルス戦に下記選手と組み合わせることを同意し、ここに届け出いたします。

1. 出場するダブルス種目 (どれかを○で囲むこと)

① () 男子ダブルス戦

② () 女子ダブルス戦

③ () 混合ダブルス戦

2. 【組み合わせる選手氏名】

ふりがな

氏 名 _____ (男子・女子) (年齢)

加盟団体名 _____

■提出先

5月24日(日) 監督・主将会議にダブルス組合せ同意書を提出すること。

関東ろう連盟体育部委員会委員長様

団 体 名 _____

体育部長名 _____ ㊞

緊急登録選手変更届

[特別な理由 (突発的病気・事故など)]

私は、第55回関東ろう者体育大会 _____ 競技の登録選手を下記のとおり変更しますので、ここに届け出いたします。

記

【登録抹消】

ふりがな

氏 名 _____ (年齢)

背番号 _____

守備位置 _____

【新規登録】

ふりがな

氏 名 _____ (年齢)

背番号 _____

守備位置 _____

- 大会期間前 (6月26日 (金)) 各都県体育部長に提出すること。(午前10時まで)
突発的な病気・事故などの理由
()
但し、追加の申し込みは一切認めらない。

(様式5) 《ボウリング競技》

2026年 月 日

関東ろう連盟体育部委員会委員長様

団 体 名 _____

体育部長名 _____ 印

(監督と主将) _____ 印

(※どちらかを○で囲むこと)

メンバー及び投球順変更届

第55回関東ろう者体育大会ボウリング競技のメンバー及び投球順を下記のとおり変更しますので、ここにお届けします。

【変更前】

【変更後】

氏名① _____ (男・女)

氏名① _____ (男・女)

氏名② _____ (男・女)

氏名② _____ (男・女)

氏名③ _____ (男・女)

氏名③ _____ (男・女)

氏名④ _____ (男・女)

氏名④ _____ (男・女)

以 上

■提出先

5月24日(日) 監督・主将会議終了後、実行委員会へ監督又は主将が提出すること。

(様式6)

棄権届

2026年 月 日

2026年 第57回卓球競技大会 審判長 様

() 種目 男子・女子

所属 _____

氏名 _____

連絡先 _____

届出人 _____
(届出人が本人でない場合、記入してください。)

下記のとおり試合を棄権しますので届け出ます。

棄権する試合	試合NO ()
試験する理由	
備考	

関東ろう者体育大会参加に関する誓約事項

1. 主催者側の責によらない競技中の事故については、応急処置のみを行うこととし、その他の責任については、一切負わないものといたします
2. 地震・風水害・降雪・事件・事故等による開催地縮少・中止・参加料返金の有無・額等については、その都度主催者が判断し、決定いたします。
3. 大会への参加に際し、自己の身体状況を十分考慮し、競技する身体的条件が備わっていると自らが判断し、申し込みましたので、大会開催中に発生した健康上および補装具（人工内耳・補聴器・ペースメーカーなど体内埋め込み型医療機器・眼鏡、など）の問題については、一切自己の責任といたします。
4. 大会期間中の事故、紛失、疾病等に関し、主催者の責任を免除し、損害賠償等の請求を行いません。
5. （高校生の場合）保護者の同意を得た上で、大会に参加いたします。
6. 代表者（監督又は主将）が選手の同意を得た上で、大会に参加いたします。

以上の事項に同意し、参加申込することを誓約します。

参加誓約書

2026年 月 日

監督及び主将 氏名(代表者)	印
-------------------	---

※署名・捺印がない場合は、大会に参加できません

◎参加者が高校生の場合は、保護者の方の承諾をお願いします。

保護者氏名	印
保護者氏名	印

- 参加申込みにあたり上記事項の内容について、各競技監督及び主将(代表者)に同意し、お申し込みください。
- 参加者が高校生の場合は、参加誓約書に保護者による参加同意の署名・捺印が必要となります。

<会場案内> *会場情報は第 55 回関東ろう者体育大会ホームページに順次掲載いたします。

内容	会場・交通手段
監督・主将会議、組合せ抽選会 開会式・引継式	山梨県立図書館 甲府市北口2丁目8-1 JR 中央本線/甲府駅北口から徒歩約 3 分 中央自動車道/甲府昭和 IC から車で約 15 分
野球	山梨県立飯田野球場 甲府市飯田 5-11-1 中央線/甲府駅南口から車で約 10 分
野球	緑が丘スポーツ公園ふじでん球場 (野球場) 甲府市緑が丘 2-8-2 中央線/甲府駅南口から車で約 10 分
卓球 (体育館) バレーボール (武道館) テニス (テニスコート)	小瀬スポーツ公園 甲府市小瀬町 840 JR 中央本線/甲府駅南口から車で約 20 分 中央自動車道/甲府南 IC から車で約 10 分
ゲートボール	すぱーく白根 南アルプス市百々3468-65 中央自動車道 甲府昭和 IC→中部横断道 白根 IC から車で約 20 分
ボウリング	ダイトースターレーン 甲斐市下今井 3681-1 甲府昭和 IC から車で約 10 分 双葉スマート IC から車で約 5 分
ソフトボール	釜無川スポーツ公園グラウンド 甲斐市西八幡 4261 中央自動車道/甲府昭和 IC から車で約 5 分
サッカー バドミントン *住所は同じです	韮崎中央公園陸上競技場 (サッカー場) 東京エレクトロン韮崎アリーナ (バドミントン) 韮崎市藤井町南下條 897 JR 中央本線/韮崎駅から車で約 10 分 徒歩約 30 分 中央自動車道/韮崎 IC から車で約 10 分
フットサル	北杜市白州体育館 北杜市白州町鳥原 2913-208 JR 中央本線/小淵沢駅から車で約 10 分 中央自動車道/小淵沢 IC から車で約 15 分



KANTOHA